

3 地域振興部

- 1 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、
充実した人生を送れるようになっていきます。
 (仮称)新九段生涯学習館整備計画の検討……………104
 新スポーツセンター基本構想の策定……………104
 スポーツ振興基本計画の改定……………105
- 2 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、
心が豊かになっています。
 内幸町ホール改修整備(基本・実施設計)……………105
 文化芸術鑑賞事業……………106
 ちよだアートスクエア改修整備(基本・実施設計)……………106
 図書館・図書文化館事業運営(指定管理料)……………107
 子ども読書活動推進計画の改定……………107
 図書のデジタル化……………108
 文化財のデジタル化……………108
- 3 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを
享受できています。
 産業コミュニティ形成支援事業……………109
 地域課題解決支援事業……………109
- 4 人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。
 会館施設予約システム……………110
- 5 基本構想の実現に向けて
 国際平和都市千代田区宣言30周年記念事業……………110
 戸籍事務費……………111
 証明書コンビニ交付……………111

(仮称) 新九段生涯学習館整備計画の検討

13,200千円 (— 千円)

新規

▶生涯学習・スポーツ課

九段生涯学習館は、生涯学習の振興を図るため、自主的かつ継続的な学習活動をしている区民のグループ、サークル等の団体が行う学習・研究・実習等の場であるとともに、文化芸術を通じた交流と、区民による創造・発信の拠点となっています。

現施設は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」のエリア内に所在しています。

令和6年度は、当該再開発事業の進捗を見据え、子どもや障害者、高齢者等、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点として、新九段生涯学習館に求められる機能等の調査・検討を実施します。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

新スポーツセンター基本構想の策定

31,394千円 (30,000 千円)

▶生涯学習・スポーツ課

区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや社会環境の変化に対応した、誰もが利用しやすい新たな施設として整備するため、基本構想の策定を進めています。

令和6年度は、川沿いの立地を活かしながら、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人が、交流を図りながら気軽にスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組めるスポーツ施設として整備するため、引き続き事業手法の検討等を行い、新スポーツセンターの基本構想を策定します。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

スポーツ振興基本計画の改定

5,200千円 (— 千円)

新規 ▶生涯学習・スポーツ課

区は、令和3年10月にスポーツ振興の実現により到達すべき千代田区の未来像として、「楽々いえスポ 元気にまちスポ いいね👍スポーツちよだ」を基本理念とする「千代田区スポーツ振興基本計画」を策定しました。

令和6年度は、令和7年度が本計画の最終年度となることを踏まえ、計画改定に向けた準備に着手します。子どもから高齢者、障害者など全ての人々が、区内在住・在勤・在学やスポーツの好き・嫌いに関わらず、スポーツに親しむ環境を整備するため、広く区民等のニーズ調査を実施・分析するとともに、スポーツを取り巻く社会情勢の変化や政策動向を把握し、改定計画につなげていきます。

R7 見込額：7百万円 R8 見込額：完了

内幸町ホール改修整備（基本・実施設計）

36,062千円 (— 千円)

新規 ▶文化振興課

文化芸術拠点施設の1つである内幸町ホールは、築後27年が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、令和5年度は大規模改修工事に向けた現状調査等を実施しています。

令和6年度は、引き続き調査を行い、区民等の意見を聞きながら、基本・実施設計の中で、施設の平面プランや必要な機能を決定します。

【所在地】内幸町一丁目5番1号

【階数】地上3階、地下1階

【供用開始予定】令和8年度

【主な機能】多目的ホール

■整備スケジュール（予定）

令和5年度～6年度 現状調査

令和6年度 基本・実施設計

令和7年度～8年度 改修工事

令和8年度 供用開始

R7 見込額：- R8 見込額：-

文化芸術鑑賞事業

30,450千円 (29,997千円)

拡充 ▶文化振興課

区は、区民等が身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化芸術鑑賞事業を実施しています。

令和6年度は、東京国際映画祭との共催事業である「千代田シネマセレクション」について、ベビーカー等の出入りがしやすい会場で、子ども向け作品を上映し、親子が気軽に映画を親しめる機会を提供します。

また、「昼休みコンサート」を、現在の年2回から年4回の実施に拡充し、親子向けのプログラムも用意することで、千代田区に住み集う人々が気軽に参加できる鑑賞機会を提供し、文化芸術に触れるきっかけとします。

R7 見込額：30 百万円 R8 見込額：30 百万円

ちよだアートスクエア改修整備(基本・実施設計)

77,367千円 (ー千円)

新規 ▶文化振興課

ちよだアートスクエア(旧練成中学校)は、築後45年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和5年度は、大規模改修工事に向けた現状調査のほか、次期運営事業者の選定を行っています。

令和6年度は、次期運営事業者の意向も踏まえた施設の基本・実施設計を行い、区民等が文化芸術に親しみをもち、気軽に利用できる施設となるよう整備を進めていきます。

【所在地】外神田六丁目11番14号

【階数】地上3階、地下1階

【供用開始予定】令和9年度

【主な機能】文化芸術活動施設

■整備スケジュール(予定)

令和5年度	現状調査
令和5年度～6年度	次期事業者選定
令和6年度	基本・実施設計
令和7年度～8年度	改修工事
令和9年度	供用開始

R7 見込額：- R8 見込額：-

図書館・図書文化館事業運営（指定管理料） 854,962千円 （ 857,250 千円）

拡充 ▶文化振興課

区立図書館は、指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。平成29年度からは、5館（千代田図書館、日比谷図書文化館、四番町図書館、昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館）を一体的に管理し、各館の地域性や特色を活かした魅力あるサービスを提供しています。

令和6年度は、令和8年度の（仮称）四番町公共施設の竣工に向け、新四番町図書館の開館準備を行います。開館に向けて蔵書の充実を図るとともに、資料のICタグ装備も進めます。ICタグの装備により、スムーズな貸出・返却が可能となり、資料管理及び運用面でも効率化を図ります。

R7 見込額：855 百万円 R8 見込額：855 百万円

子ども読書活動推進計画の改定 5,597千円 （ ー 千円）

新規 ▶文化振興課

令和元年度の第3次千代田区子ども読書活動推進計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の流行や電子書籍の普及など、子どもの読書活動推進を取り巻く社会情勢は大きな変化を迎えています。

令和6年度は、これらの変化を踏まえ、家庭や学校等にとどまらず、地域全体で子どもの読書活動の推進を支えていくため、子ども読書活動推進計画を改定します。

世界有数の出版関連産業の集積地である区の特性を活かし、区内関連団体と協力・連携した事業展開のほか、デジタル社会に対応した読書環境の整備や、子どもの視点に立った読書活動の推進等についても検討していきます。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

図書のデジタル化	10,014千円	(—千円)
文化財のデジタル化	43,235千円	(—千円)

新規 ▶文化振興課

区は、令和4年4月に「千代田区DX戦略」を策定し、デジタル技術を活用した区民サービスの向上と効果的で効率的な行政運営に努めています。

1 図書のデジタル化

日比谷図書文化館特別研究室には、約16,000冊の内田嘉吉文庫のほか、古文書・絵図などの貴重な資料が収蔵されていますが、研究者以外の一般利用者が目にする機会が少ない状況にあります。

令和6年度は、今後の公開を見据えて、特別研究室の一部資料についてデジタルデータ化を進めます。

また、多くの人に見てもらえるような公開方法の検討を進め、区が有する他に類を見ない知的財産の活用を図ります。

2 文化財のデジタル化

慎重な取り扱いが必要な浮世絵や古文書などの収蔵資料は、劣化しやすく、展示機会も限定されていることから、区民等が触れる機会や学術研究への活用が少なくなっています。

令和6年度は、大型図面や絵画について高精細スキャンによるデジタルデータ化を行うとともに、より多くの区民等が文化財に親しむ機会を創出するため、公開・活用方法の検討を進めます。

デジタル技術の積極的な活用により、資料の劣化や損傷を防ぎながら、歴史的価値を広く効果的に伝えていきます。

R7 見込額：8百万円 R8 見込額：1百万円

産業コミュニティ形成支援事業
地域課題解決支援事業

30,848千円 (25,760 千円)
11,942千円 (10,858 千円)

拡充 ▶商工観光課

区は、令和5年3月に「千代田区産業振興基本計画」を策定し、区の立地を活かした中小企業等の振興や各まちのブランドを活かした産業の活性化に取り組んでいます。

1 産業コミュニティ形成支援事業

区内における新産業・スタートアップ振興の一環として、産業コミュニティ「千代田 CULTURE×TECH」を立ち上げ、参加企業間でのコミュニティ形成をオフライン・オンラインの両面から支援する取組を推進しています。スタートアップ企業のみならず、区内企業、商工関係団体、教育機関・学生、金融機関など、関連ステークホルダー同士がつながる場を提供し、イノベーションの創出を図っています。

令和6年度は、コミュニティ内における各種イベントを実施するとともに、東京都が主催するアジア最大級のスタートアップイベント「SusHi Tech Tokyo 2024」に区内スタートアップ企業と共同出展することにより、コミュニティ参加者のさらなる振興につなげ、千代田のブランド力向上をめざします。

2 地域課題解決支援事業

区は、東京都のUPGRADE with TOKYO 事業に参加し、スタートアップ企業の持つ新たな技術・手法を活用して地域の課題解決をめざす取組を行っています。

令和6年度は、引き続き東京都とスタートアップ企業との協働により、デジタルマップを活用した地域の回遊性向上に向けた取組を試行的に行います。

また、地域課題解決に資する取組を検討し、人や関連企業を地域に呼び込み、まちのにぎわいの創出に向けて取り組めます。

R7 見込額：52 百万円 R8 見込額：50 百万円

会館施設予約システム

56,459千円 (50,482 千円)

拡充 ▶麴町出張所

現在、会館施設予約システムは、区民館、コミュニティスクール及びちよだパークサイドプラザの施設予約システムとして、空室状況の確認や施設利用の予約をオンラインで行うことができます。

令和6年度は、さらなる利便性の向上を図るため、施設利用の予約から使用料の支払いまで来庁せずに手続きが完結できるよう、オンライン手続きを拡充します。

また、現在は窓口や電話で予約や支払いを受け付けている学校施設においても、本システムの導入を進めます。

R7 見込額：12 百万円 R8 見込額：12 百万円

国際平和都市千代田区宣言30周年記念事業

8,837千円 (ー 千円)

新規 ▶国際平和・男女平等人権課

世界では、いまなお悲慘な戦争や武力紛争が繰り返されています。こうした中、令和7年3月15日に、「国際平和都市千代田区宣言」から30年の節目を迎えます。

令和6年度は、「国際平和都市千代田区宣言」の趣旨に基づき、区民等に向けて平和について考える機会を提供するとともに、特に未来を担う若い世代に向けて、平和意識の醸成と積極的な平和活動への参加の動機付けとなるようなイベントを開催します。イベントでは、アーティストや区内学生・団体による平和コンサート、著名人による平和をテーマとした朗読などを行い、平和の尊さ、大切さを感じられる機会とすることで、世界の恒久平和の実現に向けた積極的な行動を促していきます。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

戸籍事務費

88,978千円 (381,054 千円)

拡充

▶総合窓口課

マイナンバー法等の改正により、マイナンバーカードの海外利用が開始されることを踏まえ、公証された氏名の振り仮名をマイナンバーカードにローマ字表記するために、戸籍に振り仮名を記載する必要があります。

そこで令和6年度は、今後予定されている法施行に合わせてシステムの改修を行うなど、環境整備を進めます。

また、令和6年3月から戸籍証明書の広域交付が始まったことから、本籍地が千代田区以外の区民も、区の窓口で戸籍証明書が取得可能となりました。一方で、昼間区民の戸籍証明書の取得も想定されるため、交付手続きについて予約制を導入し、スムーズな交付を行います。

R7 見込額：620 百万円 R8 見込額：150 百万円

証明書コンビニ交付

58,566千円 (57,977 千円)

拡充

▶総合窓口課

区は、平成31年2月から、全国のコンビニエンスストアの端末でマイナンバーカードを使用して、住民票の写し等の公的証明書を取得できるサービスを実施しています。

マイナンバーカードを使用した端末（キオスク端末）からの公的証明書発行により、発行までの所要時間が短縮され、申請書の記入が不要となるほか、早朝や夜間、休日にも取得できるなど、利便性は大きく向上しています。

そこで令和6年度は、既に導入している区役所本庁舎、麴町出張所、万世橋出張所に加え、富士見出張所、神保町出張所、神田公園出張所、和泉橋出張所でもキオスク端末を設置します。窓口業務の迅速化・効率化を図るとともに、初めて端末を利用する方も安心して利用できるようサポートします。

R7 見込額：59 百万円 R8 見込額：59 百万円